

高知憲法速報

№178 2008. 11. 18
 発行：高知憲法会議事務局
 088-872-3406
 編集人 事務局 徳弘嘉孝

ペシャワール会・中村哲氏の発言

2008年11月5日参議院外交防衛委員会

参議院外交防衛委員会で参考人質疑が行なわれ、参考人としてペシャワール会現地代表の中村哲さん、独立行政法人国際協力機構(JICA)広報室長の力石寿郎氏が発言しました。中村さんは国連飛行機で24時間かけてアフガニスタンから駆けつけました。質疑の詳細が「憲法改悪反対共同センター」のニュース(お知らせ)に収録されています。各党代表の質問も含めて興味深いものですので是非ご一読ください。アドレスは次のとおり。

<http://www.kyodo-center.jp/oshirase/oshirase.htm>

中村哲さんの発言要旨の一部を載せます。

アフガンの治安はこの20年来で最も悪く感じている。この冬大干ばつに直面する可能性があり数十万人が生きて冬を越せないという状況。用水路の建設に力を尽くしている。水・食べ物の自給はアフガンの生命を握っている。ペシャワール会も5年前から用水路の建設に携わってきた。一方で外国軍隊の介入が治安の悪化に拍車をかけている。外国兵の死者の100倍のアフガン人が殺されている。アフガン農村では復讐は絶対の掟だ。爆撃でアフガン人が殺され、たくさんのテロリストを生み出している。土着の反抗勢力は国粋主義運動の色彩が濃くいろんな党派が乱立し、特定の指令で動いているわけではない。欧米諸国に対する憎悪が民衆の間に拡大している。親日感情にも陰りが見えてきた。広島・長崎のことは有名で、かつては日の丸をつけていたら安全だったが、米軍の軍事活動に協力していることが知れてきて、身近に危険を感じるようになった。よりよい安全な世界を子孫に残すのか、今日本は岐路に立っている。目先の政治道具にしたり、経済利益に惑わされずしっかり議論してもらいたい。また日本での議論で「国際社会」という言葉がベースになっているが、疑問を持つ。「国際」とは国家や民族が違いを超えて理解しあって命を尊重することだ。日本の議論の「国際社会」にはアフガンやパキスタンの民衆は入っていない。何をすべきかという性急な結論を出さず、大きな眼でアフガンを見ること、何をすべきかをはっきりと明確にすること。軍隊は送ってはいけない。自衛隊の派遣は100害あって一利なしだ。

署名集約状況 11/18現在

会員団体名	署名目標	到達
県労連	20,000	4,315
県教組		1,783
高教組	10,000	734
私学教組		30
自治労連		3,874
県国公		2,200
福祉保育労	3,000	70
平和委員会	5,000	702
民青同盟		
新婦人	20,000	18,013
商工団体連合会	15,000	16,718
自由法曹団		
地域人権連		
高退協		100
治維同盟		
梅原憲作		
共産党県委員会	40,000	2,454
医労連		77
民医連		12,652
学習協		
山下道子法律事務所		
退教協		750
退婦教		3,340
農民組合		
その他		732
街頭署名		4,961
小計		73,505
母連		11,449
うち重複集約(報告)分		9,269
有権者過半数目標/到達合計	331,000	75,685
こうち九条の会街頭署名		7,298

12・8 平和のつとめ…堤末果さん講演

記念講演；ジャーナリスト・堤末果「私の国が

持つ貴重なもの、次世代に手渡せるものとは」

日時；12月7日(日)1:30～4:00

会場；男女共同参画センター「ソーレ」3階

12月7日の集会になりますのでお間違いなく。アメリカ大統領選挙の結果、金融危機と貧困化など幅ひろい話が聞けると思います。

参加費1000円。事務局にも券があります。

11月の憲法会議街頭宣伝署名

11月19日(水)5:15～帯屋町グリーンロード

11月29日(土)1:30～帯屋町グリーンロード

ぜひどちらかにご参加ください

